

会 議 録	
会議名	令和 6 年度第 1 回在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
日 時	令和 6 年 6 月 26 日 (大)水 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場	グーグルミートWEB会議
参加者	【部会長】高橋公一先生（みさと中央クリニック） 【副部会長】三瓶裕之（三郷ケアセンター） 【委 員】山本洋子（ファミリーケアみさと）、宮田姫芳（アスカ訪問看護ステーション）、川津清和（みさと協立病院居宅介護支援事務所）我妻祐哉（三郷中央総合病院）、中橋二郎（におどり薬局）、光井絵理（地域包括支援センターみさと中央）、 【サポートセンター/三郷市医師会】藤井なほ美、川島幸道 【市事務局】小笠原郷太、小林碧 （敬称略）
検討課題	1. 研修部会の活動について 2. 今年度の活動方針
内 容	1. 研修部会の目的の確認、委員の確認（3 人変更）及び副部会長の選任について ・新規委員 三郷中央総合病院 作業療法士 我妻祐哉 におどり薬局 薬剤師 中橋二郎 地域包括支援センターみさと中央 保健師 光井絵理 ・副部会長 三郷ケアセンター 介護福祉士 三瓶裕之 ※各委員に確認、了承を頂いた。 2. 今年度のスケジュールについて 本日を第 1 回とし 4 回の開催予定とし適宜実施する。 3. 予算について 今年度の予算については 40 万（税込）となっている。 4. 令和 5 年度の活動内容（医療介護関係者向け研修会等の実施） ▼2023 年度：11 月 25 日（土）におどり会場とWEBによる研修会 三郷市医療介護事業所の在宅看取りの取組事例を基にパネルディスカッション

	テーマ : 「在宅看取り」 総 括 : みさと中央クリニック パネラー : アスカ訪問看護 ST 三愛会ロイヤル訪問看護 ST ファミリーケアたかの 司 会 : みさと協立病院居宅介護支援事業所 委 員 : 三郷ケアセンター 地域包括支援センターみさと中央 三愛会総合病院 高橋公一先生 宮田姫芳 三井純也 山本洋子 川津清和 三瓶裕之 吉野吉佑 榊原佳彦 ※令和 5 年度は三郷市在宅医療介護連携推進協議会から出された、三郷市の課題「在宅看取り」について、3 人の委員より各事業所の在宅看取り事例を参考に委員と参加者でディスカッションする多職種向け研修会を行った。 ◆令和 6 年度が多職種向けの研修会を、どのような内容で行うか、 5. 令和 6 年度の三郷市の課題について 「①協議会の課題」、「②研修部会の継続課題」を踏まえて令和 6 年度の課題とする。 ①三郷市在宅医療介護連携推進協議会で上げられた地域の課題 ・「日常の療養について」 A. MCS の活用（広報、加入手続き、活用の仕方、事例等） B. 各職種の専門性に対する理解不足（各職種の出来る事、できない事を知る、連携事例、新人教育、アップデート、生活という観点から考える等） ②研修部会で継続して取り組んできた課題等 A. 「ACP（在宅看取りを含む）」 B. 「BCP（事業継続計画）」 C. 「ポリファーマシー」 D. 昨年度研修会後のアンケートでの要望 ※協議会の課題「各職種の専門性に対する理解不足」を考えつつ、研修部会の課題からテーマを決めて行く事になった。 6. 令和 6 年度の活動方針 ①活動テーマや活動方法についての各委員の意見交換 ■昨年度は自分たちの事業所で行っている ACP についてディスカッションする活動だったので、今年度も同じやり方がやりやすいかなと思う。在宅看取りや認知症のこと等、各事業所とつながる所があれば振り返ってプレゼンすることはできると思う。
--	---

- 在宅看取りとか認知症の事例を知りたい。多職種の協力の仕方や関わり合いとかディスカッションしたいと思う。
- ACP について本人の受容の段階を分けて、関わり合い方を知識として持てれば、多職種のすごい役に立つだろうと思う。
- 身寄りのない高齢者について、ケアマネ協議会でも議題の 1 つとして上がっている。社会資源など教えてもらえば勉強になると思う。
認知症について薬の管理が難しい方やパーキンソン病など難病の方の多職種連携は勉強になると思う。
- 病院の作業療法士という事で ACP になると関わり合いが薄いので医療介護の連携ということが自分の立場的に中心になるが、皆さんが話したような当事者の方たちの話を聞くことによっても勉強になると思う。
- ACP やがんのターミナルなどが良いかと思いましたが、薬剤師の立場で話しますと今度の報酬改正で小児特定加算が新設され、対象となる医療的ケア児に関わったことがないので勉強会を通じて知識が広がればありがたいと思う。
- 予防の方でも独居でいる方について、身寄りがあったとしても連絡を取っていない方や近所に知人がいて助かっている方、入院などで意思決定できていても身元保証や後見人の不安を抱えて過ごしている方、認知症で薬の管理支援が必要な方など、訪問薬剤師をはじめ各職種が材料を持ち合わせていないと対応できないと思うので、独居、身寄りの無いの方についての勉強会が良いと思う。
- 前回の事例発表で課題を共有できて大変良かったと思う。皆さんで症例検討会を 15 分ほどやって、40 分～1 時間で議題に関係した方を招いてお話を聞いてもいいかもしれない。
症例検討会にするというのであれば、沢山の方が参加して貰うスタイルは良いと思う。
- 前回グループワークをしようと思ったが、時間が足りない事とネットと会場で同時にするのが難しかった。グループワークするのであれば会場だけの方がやり易いが参加人数が減ってしまうという懸念がある。デメリットも検討して考える必要がある。

	7. 活動方法まとめ 【テーマ】 ・議論の中で多く出たのは ACP（在宅看取りを含む）に関する事。 中でも困難支援である独居、認知症、難病があがった。 また、その他の困難支援として医療的ケア児の話が出た。 ・具体的なテーマについては次回の会議 7/24 までに委員より出して貰った事例を見て再度、検討する。 【事例、症例の検討】 ・7 月 19 日（金）までに委員より上記テーマの中から 1 つ選び、事例を MCS にて川島まで提出してもらい、次回の会議 7/24 にて検討する。 【研修方法】 ・事例を用いたパネルディスカッション形式や事例検討＋講師等の方式の案が出た。 【会場・日時】 候補日、開始時間は以下とする。 令和 6 年 12 月 7 日（土） 体験学習室 A 14：00～ 令和 7 年 3 月 1 日（土） 三郷中央におどりプラザ 14：00～ ※各委員は事例等があれば上げて貰い 7 月 19 日（金）までに川島まで MCS にて提出する。 ※各委員は研修会の内容詳細について次回の会議までに実行案を考えておく。
結 論	1. 多職種向け研修を行う。 2. 研修内容と方法は。次回の会議にて再度検討する。 各委員は実行案を考えておく。 3. 各委員は事例等を川島まで提出する。（期限：7/19 まで） 4. 次回開催 令和 4 年 7 月 24 日（水） 第 2 回研修部会 13：30～ WEB 会議 内容：研修のテーマ・実行案の検討。